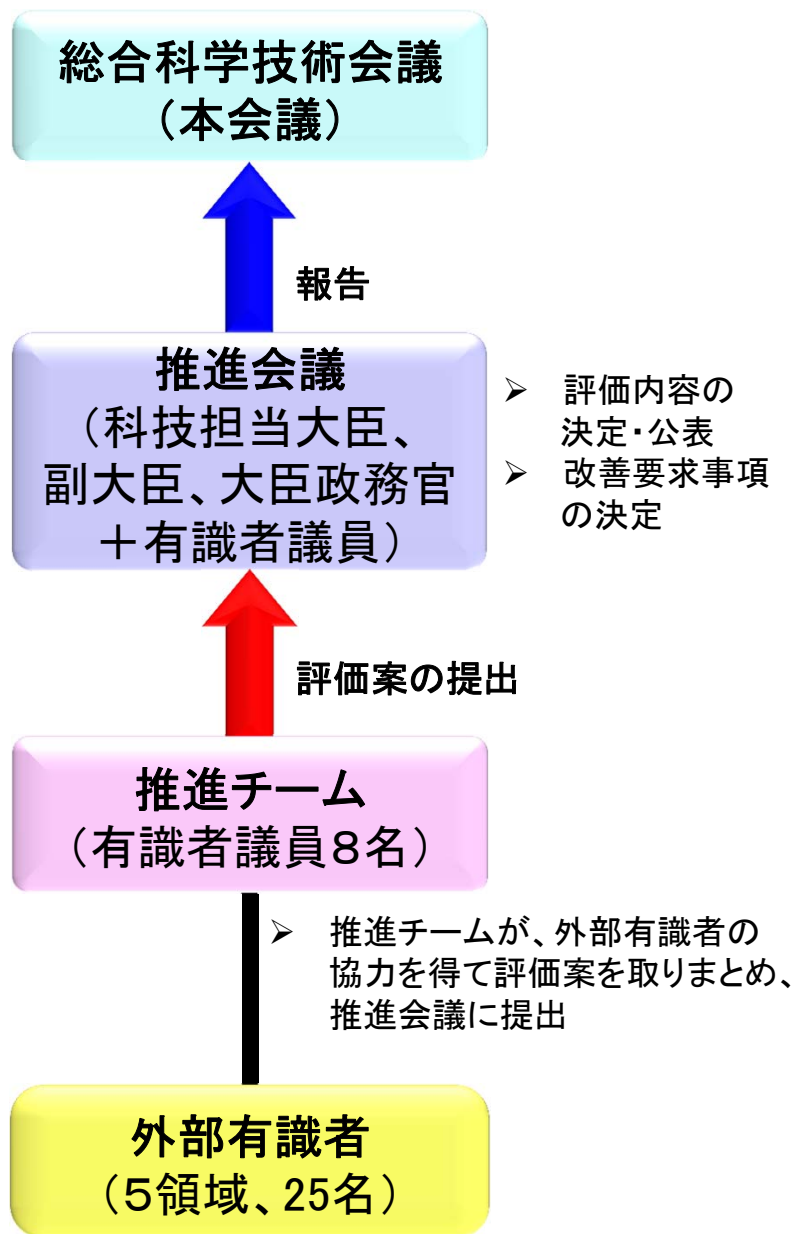
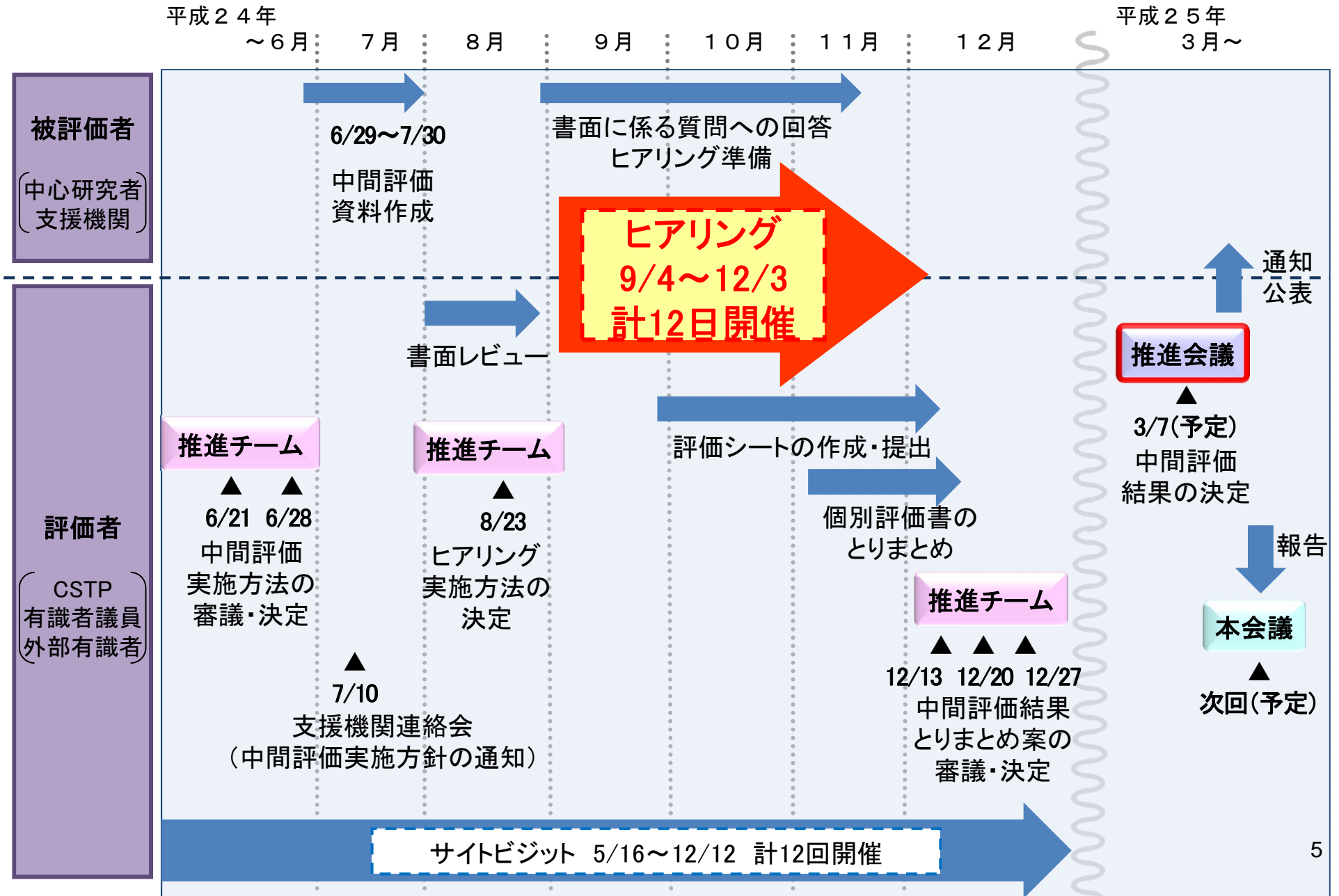


FIRST30課題の中間評価の流れ



外部有識者 (中間評価実施時)	
ライフサイエンス領域	<ul style="list-style-type: none"> ○上田泰己 (理化学研究所 プロジェクトリーダー) ○辻省次 (東京大学 教授) ○長洲毅志 (エーザイ株式会社 理事) ○山本雅之 (東北大学 教授)
医療工学領域	<ul style="list-style-type: none"> ○江頭健輔 (九州大学 教授) ○西島和三 (持田製薬株式会社 専任主事) ○米倉義晴 (放射線医学総合研究所 理事長)
物質材料領域	<ul style="list-style-type: none"> ○岩本光正 (東京工業大学 教授) ○北川宏 (京都大学 教授) ○小出康夫 (物質・材料研究機構 グループリーダー) ○小柳光正 (東北大学 教授) ○田原修一 (日本電気株式会社支 配人) ○橋本和仁 (東京大学 教授) ○吉野彰 (旭化成株式会社 フェロー)
数物・情報領域	<ul style="list-style-type: none"> ○秋永広幸 (産業技術総合研究所 センター長) ○今井浩 (東京大学 教授) ○久間和生 (三菱電機株式会社 常任顧問) ○國枝秀世 (名古屋大学 副総長・教授) ○黒部篤 (株式会社東芝 センター長) ○西尾章治郎 (大阪大学 教授)
機器・システム開発領域	<ul style="list-style-type: none"> ○有信睦弘 (東京大学 監事) ○石出孝 (三菱重工業株式会社 センター長) ○佐藤正明 (東北大学 教授) ○松井良夫 (物質・材料研究機構 連携コーディネーター) ○松木則夫 (産業技術総合研究所 四国センター所長)

中間評価の実施の経緯



iPS細胞による再生医療実現を力強く先導 (FIRSTの成果①)



山中伸弥: 京都大学iPS細胞研究所 (CiRA) 所長・教授



iPS細胞に立脚した再生医療を実現に向け、再生医療用iPS細胞樹立技術の標準化を推進

- ・安全かつ最適なiPS細胞技術の開発を推進
- ・再生医療用iPS細胞の標準化と細胞提供を実施



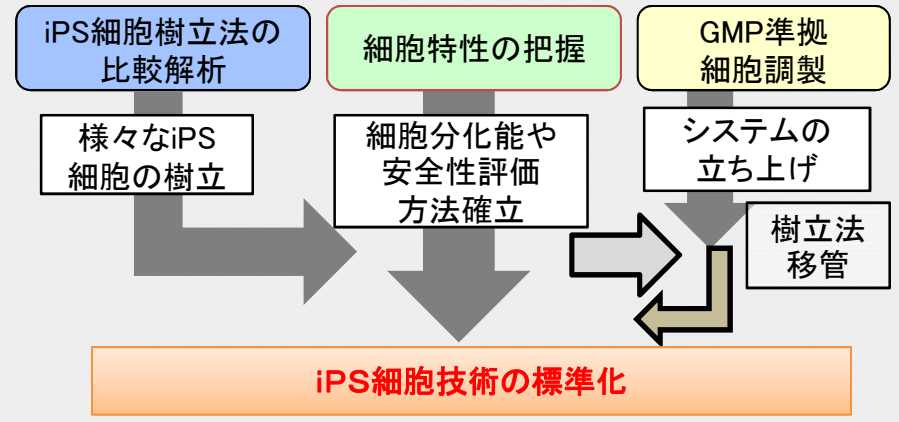
2012年ノーベル医学・生理学賞受賞者
「成熟細胞が初期化され多能性をもつことの発見」

山中教授のiPS細胞研究への主な支援

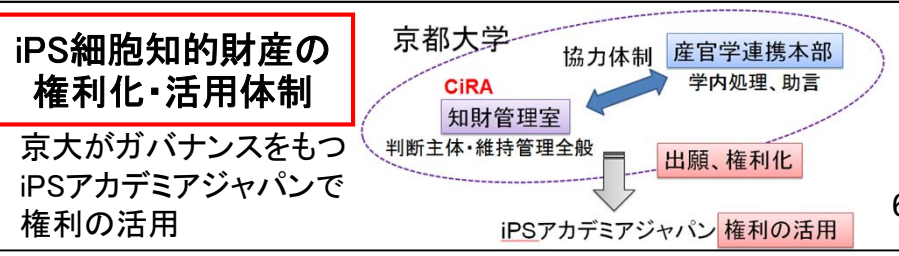
…H18年度 H19年度 H20年度 H21年度 H22年度 H23年度 H24年度 H25年度…



安全かつ最適な、iPS細胞技術の開発と得られた細胞評価系を構築



臨床に応用できるiPS細胞ストックの構築を準備



画期的な材料開発により強力に研究を牽引(FIRSTの成果②)



安達千波矢:九州大学最先端有機光エレクトロニクス研究センター(OPERA) センター長・教授

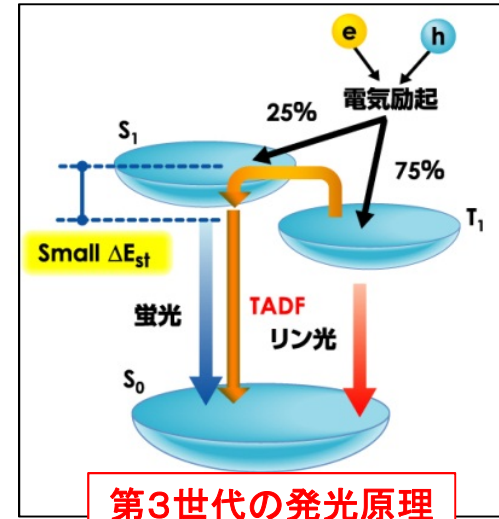


第3世代の有機EL発光材料で次世代産業を切り拓く!

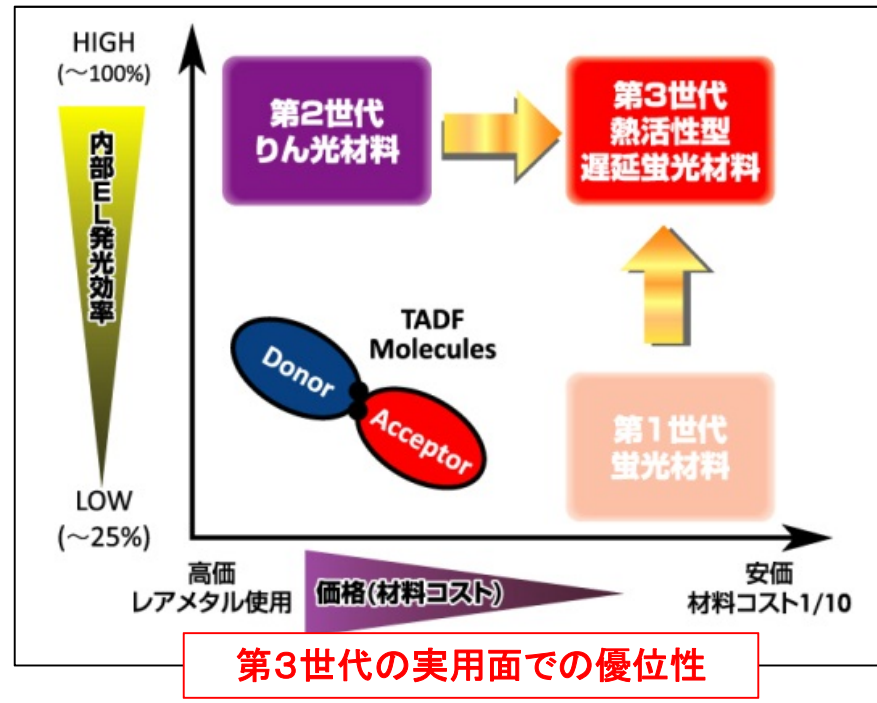
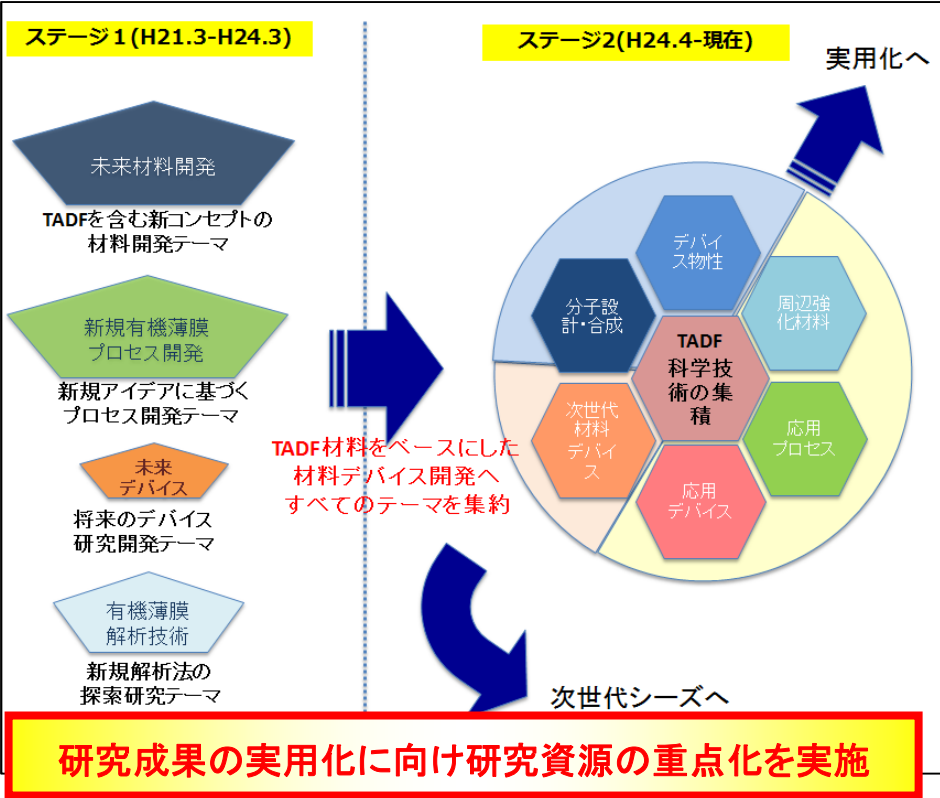
- 従来の“蛍光”材料、“リン光”材料を凌ぐ**新しい発光原理**(**TADF:熱活性型遅延蛍光**)の実現により、**第3世代の「ハイパーフルオレッセンス」材料**の開発に成功!
- 戦略的な特許確保と材料の低コスト化(レアメタルフリー)**で日本の有機EL産業を大きく飛躍!



←第3世代材料を用いた単色ディスプレイ試作



第3世代の発光原理



第3世代の実用面での優位性